



MSD43-30007/8

リヤスパッツ

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ リヤスパッツをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行なってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MSD43-30007-A0	プレシヤスホワイトパール(090)	クラウン '23.11~ 型式:AZSH32/KZSM30	
MSD43-30007-C0	プレシヤスブラックパール(219)		
MSD43-30008-NP	未塗装品		

・最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>



■ 構成部品

No.	品名	数量	備考
①	リヤスパッツ RH/LH	各1	
②	グロメット	2	
③	タッピングスクリュー	2	6×16
④	型紙 RH/LH	1	
⑤	PACプライマー (赤袋)	1	N-200 08867-00220

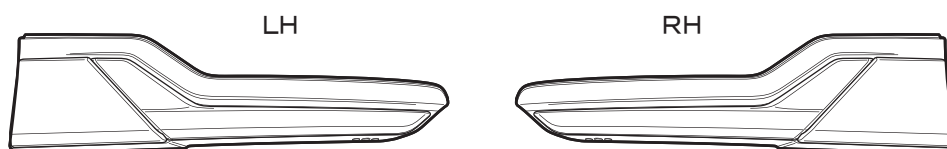
以下、MSD43-30008-NP(未塗装品セット)のみに同梱

No.	品名	数量	備考
⑥	アウターピースLH	1	
⑦	アウターピースRH	1	

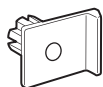
※確認・本商品が到着後すぐに、本体に破損がないこと、付属品がそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図

①



②



③



④



⑤



以下、MSD43-30008-NP(未塗装品セット)のみに同梱

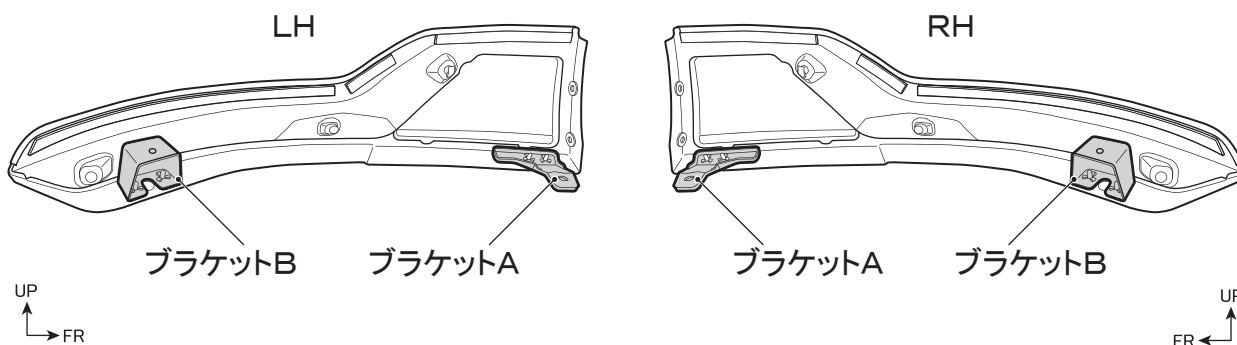
⑥



⑦



[①リヤスパッツ裏面の部名称]



取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行なってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行なうと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊖ やってはいけないこと

Ⓢ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。
- Ⓢ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行なってください。
- Ⓢ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落等により重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- Ⓢ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- Ⓢ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- Ⓢ 脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ⊖ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- Ⓢ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ⊖ 両面テープは一度貼り付けてから剥がすと、接着力が低下し再貼り付けはできません。
- ⊖ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。低温で接着した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。
- Ⓢ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。
- ⊖ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

- Ⓢ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- Ⓢ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行なってください。
- Ⓢ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1～2
2. 取り付け上のご注意（取り付け業者の方へ） 3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 4
4. 取付準備、取付要領 5～10
5. 取付完了後の点検・注意事項 10
6. 未塗装品の取り扱いについて 11～13
7. 補修キット両面テープ貼り付け 13

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具
- ・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・ニッパー
- ・電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/10.0mm）
- ・軍手・保護メガネ・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

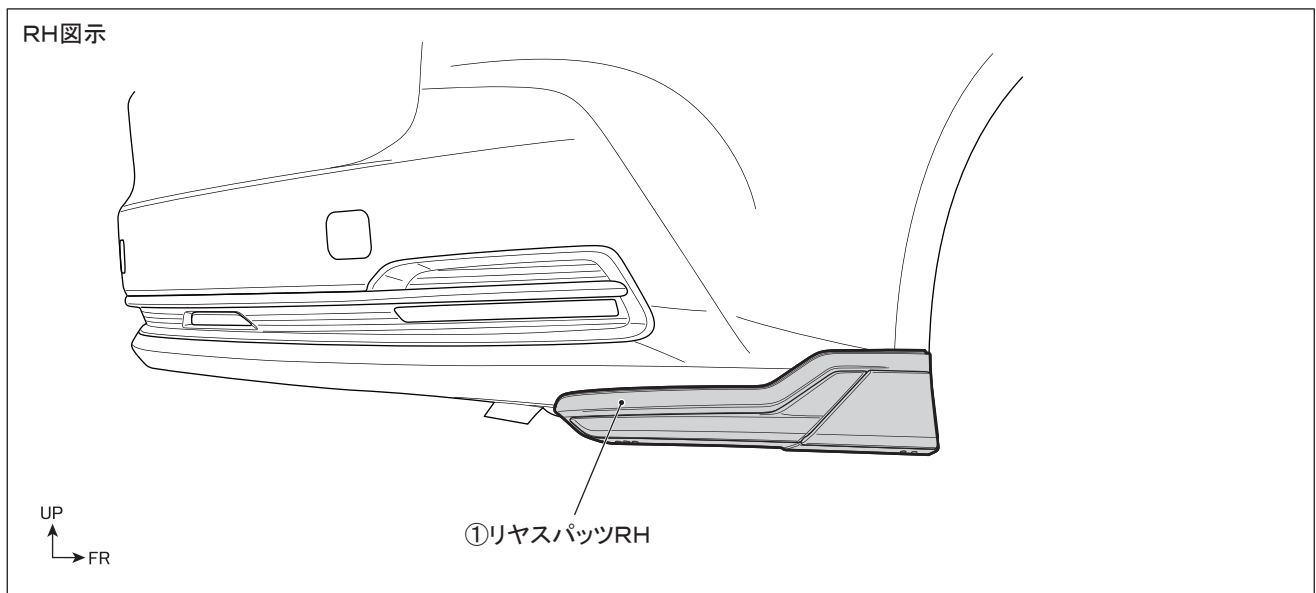
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



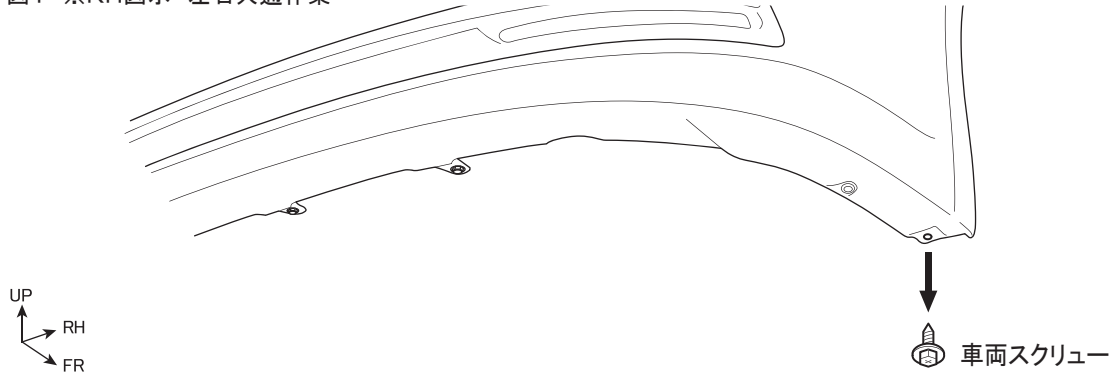
■ 取付準備、取付要領

【車両部品の取り外し作業】

1. 図1のように、リヤバンパー下部の車両スクリュー(2箇所)を取り外す。

⚠注意: 取り外した車両スクリューは復元時に再使用します。失くさないように必ず保管してください。

図1 ※RH図示 左右共通作業



【仮組とリヤバンパーの穴あけ加工】

1. ④型紙 RH/LHを切り抜き、マスキングテープでリヤバンパーに貼り付ける。(図2参照)
型紙のR部(1箇所)をリヤバンパー末端の形状に合わせ、前端の辺をRエンドに合わせて固定する。

図2 ※RH図示 左右共通作業

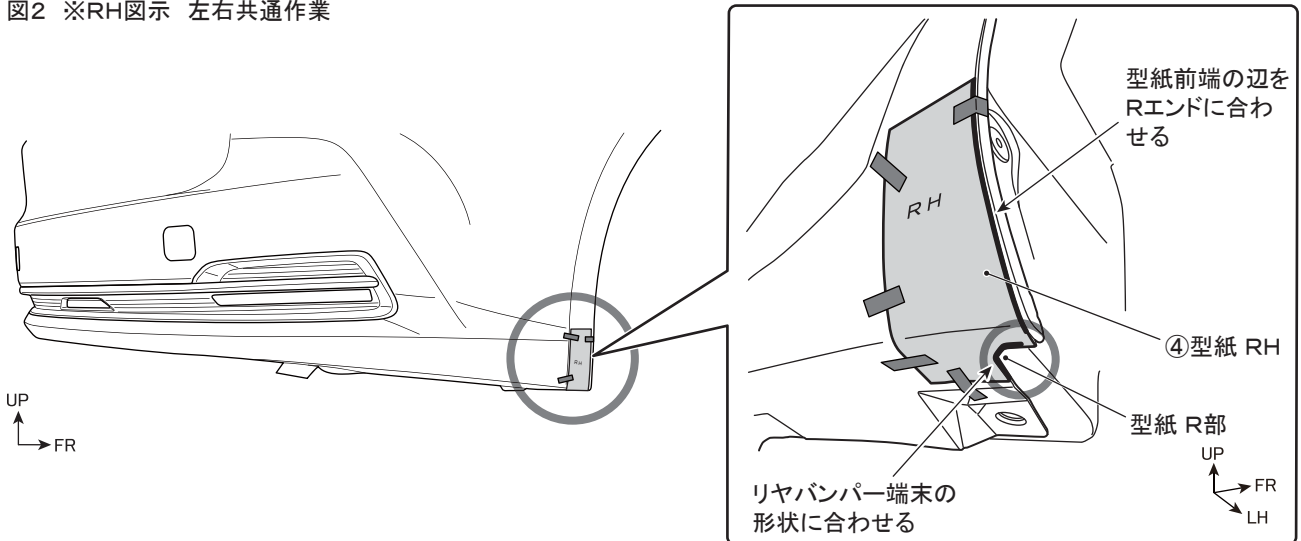
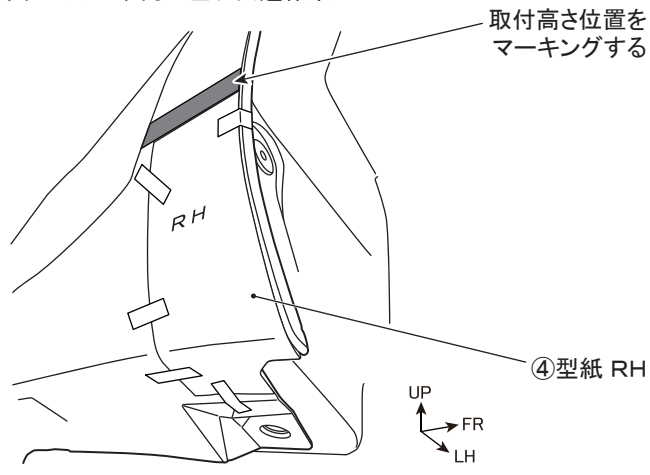


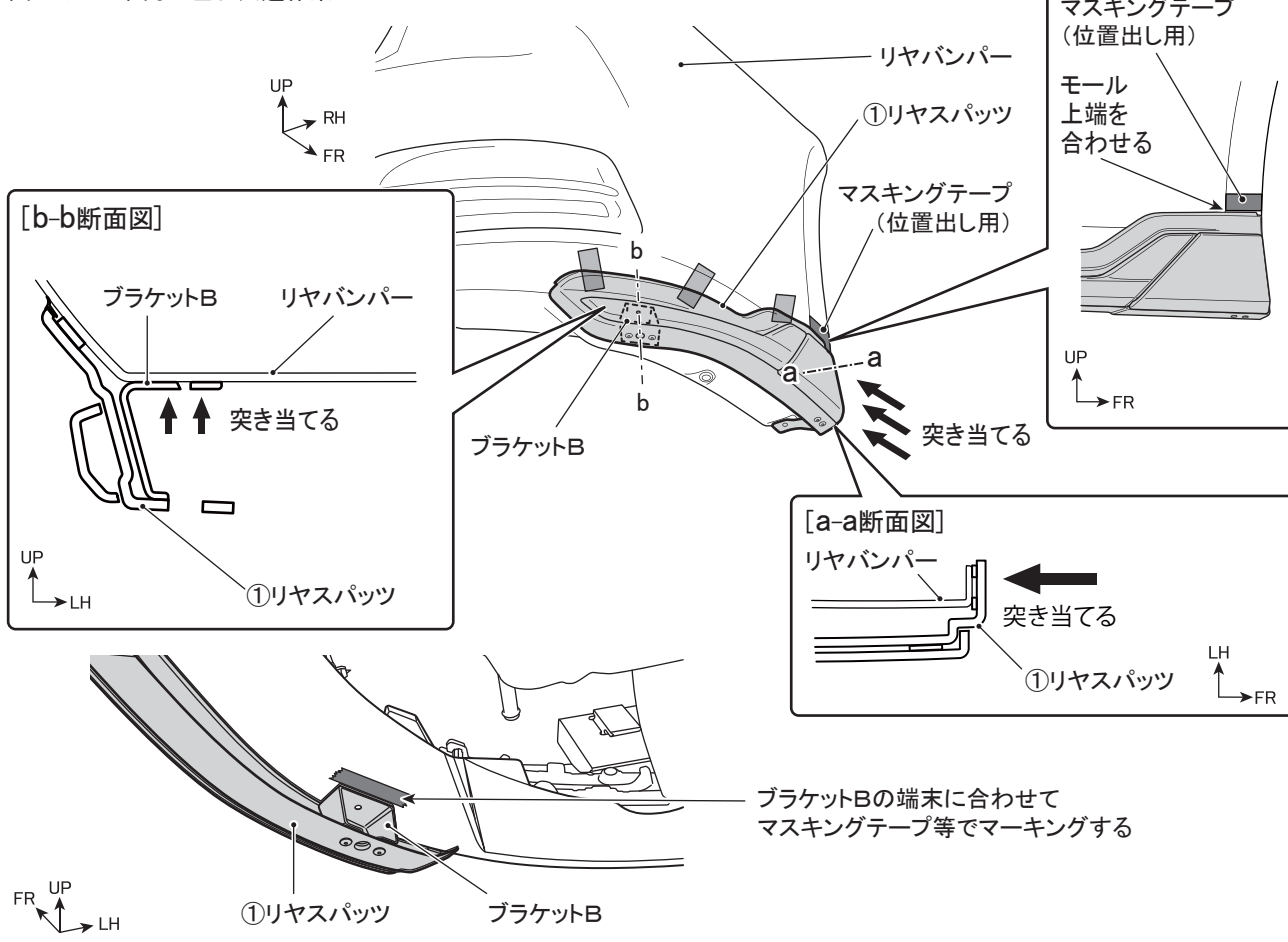
図3 ※RH図示 左右共通作業



2. ①リヤスパッツ取り付け高さの位置出しのため、④型紙 RH/LHの上端に合わせ、マスキングテープで取付高さ位置をマーキングする。(図3参照)
高さ位置をマーキングしたら、④型紙 RH/LHを取り外す。

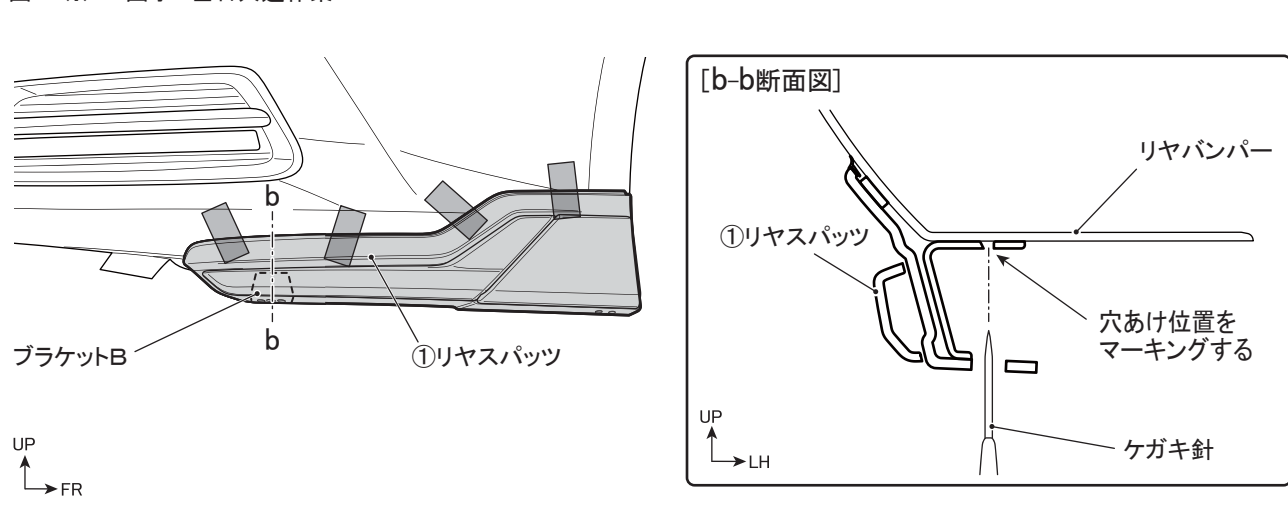
3. ①リヤスパッツをリヤバンパーに仮固定する。(図4参照)
 初めに、①リヤスパッツをリヤバンパーに被せ、タイヤハウス面を合わせて突き当てる。
 次に、①リヤスパッツモール上端を、取付高さ位置のマスクングテープに合わせる。
 最後に、①リヤスパッツ裏側ブラケットBの上面を車体下面に突き当て、①リヤスパッツを養生テープで固定する。
 ブラケットBの端末に合わせてマスクングテープ等でマーキングする。

図4 ※RH図示 左右共通作業



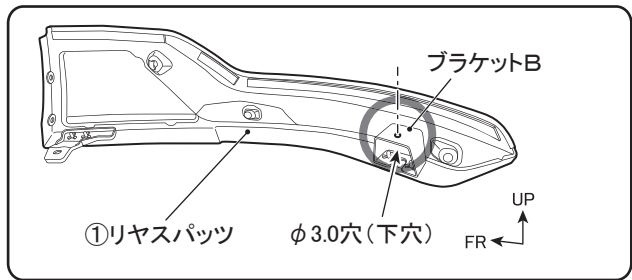
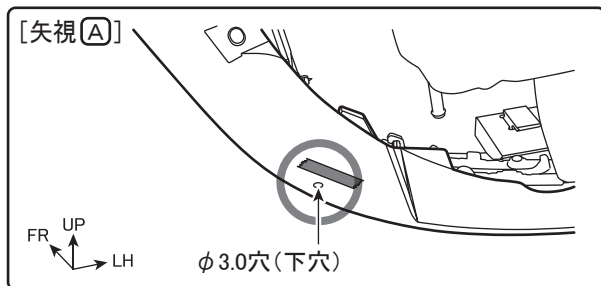
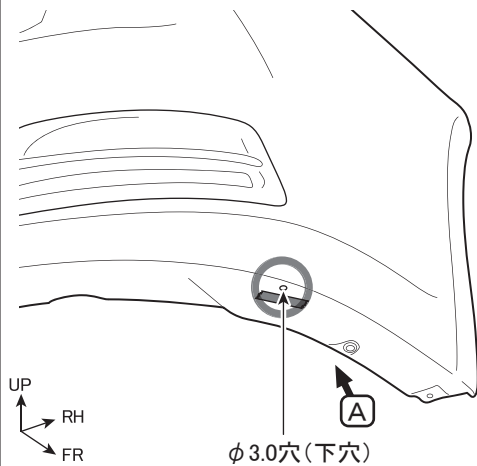
4. ブラケットB上面の穴中心からリヤバンパーに、ケガキ針等で穴あけ位置をマーキングする。(図5参照)

図5 ※RH図示 左右共通作業



5. ①リヤスパッツを取り外し、リヤバンパーにマーキングした穴あけ位置に、 $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0 \rightarrow \phi 10.0$ の順で本穴をあける。また、取り外した①リヤスパッツのブラケットBにも、同様に $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0 \rightarrow \phi 10.0$ の穴をあける。穴あけ後、バリを除去する。(図6参照)

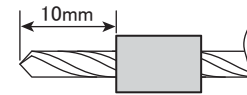
図6 ※RH図示 左右共通作業



下穴 : $\phi 3.0$
本穴 : $\phi 6.0 \rightarrow \phi 10.0$

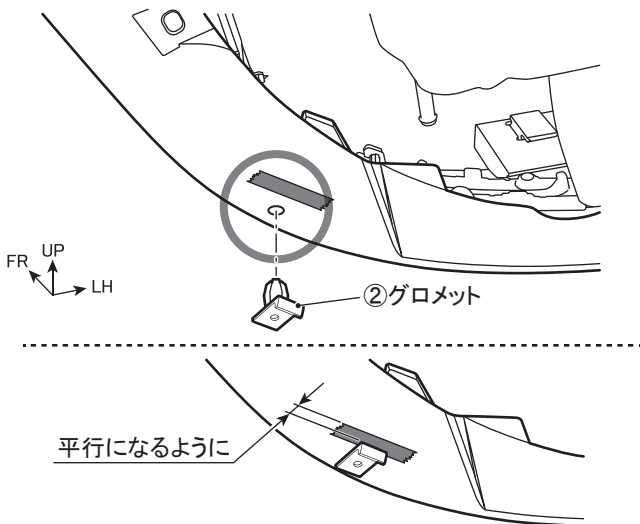
※ 穴のバリを除去して下さい。

👉 アドバイス : 傷つき防止のため、ドリル先端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。



6. リヤバンパーにあけた穴に、マーキングしたラインと平行になる様に②グロメットを取り付ける。(図7参照)

図7 ※RH図示 左右共通作業



👉 アドバイス : ②グロメットは、ツメを車両内側に向け、マーキングのマス킹テープと平行に取り付けます。

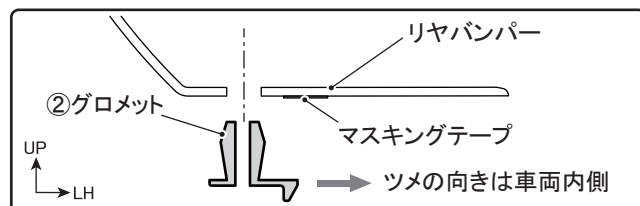
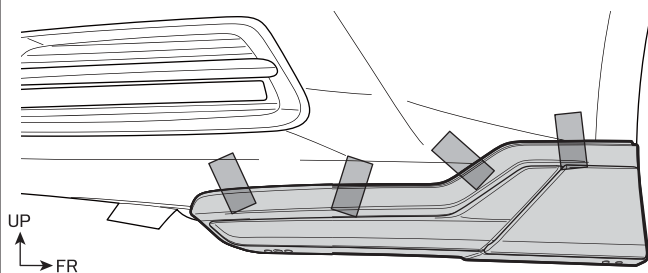


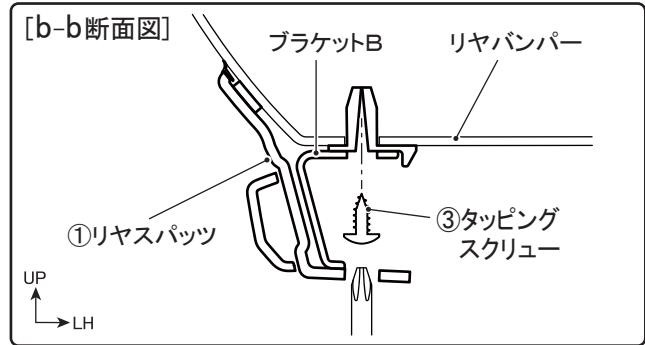
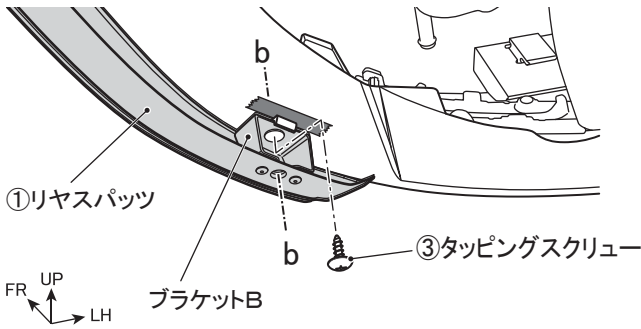
図8 ※RH図示 左右共通作業



7. ①リヤスパッツを、手順3(図4参照)の要領で再度仮固定する。

8. 図9のように、①リヤスパッツを③タッピングスクリューで本締めする。

図9 ※RH図示 左右共通作業



9. ①リヤスパッツのブラケットAを、図1で取り外した車両スクリューで本締めする。(図10参照)

図10 ※RH図示 左右共通作業

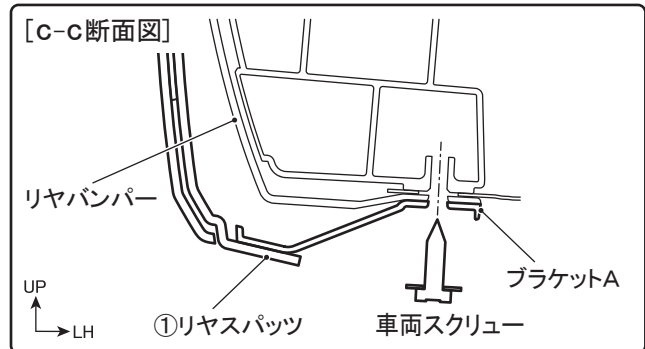
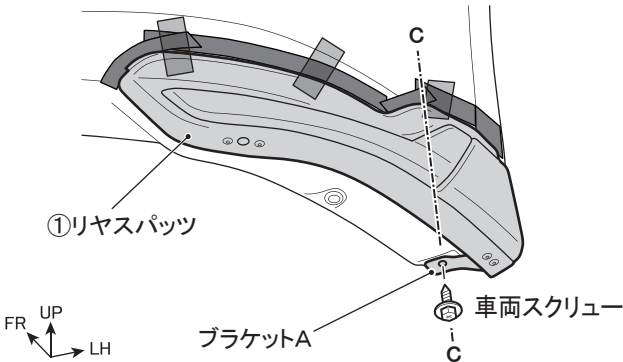
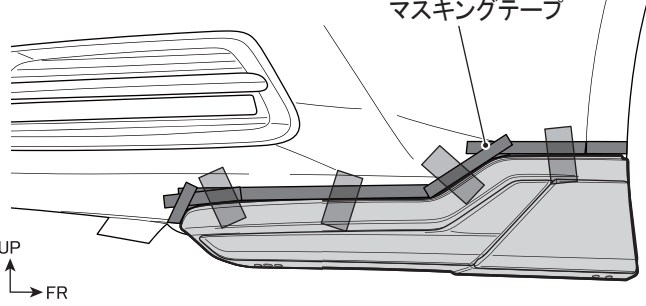


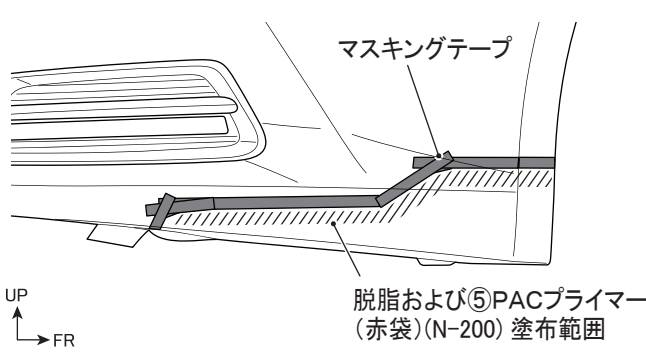
図11 ※RH図示 左右共通作業



10. ①リヤスパッツの上端に合わせてマスキングテープを貼り付ける。(図11参照)

【プライマー塗布】

図12 ※RH図示 左右共通作業



1. ①リヤスパッツを取り外し、斜線部(幅30mm)をイソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、⑤PACプライマー(赤袋)(N-200)を塗布する。(図12参照)

⚠注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意: 脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

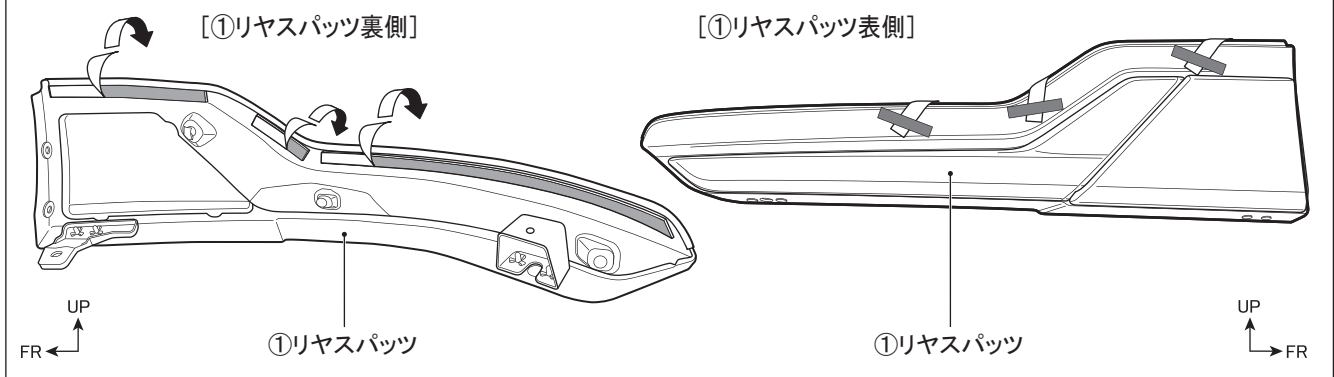
⚠注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉アドバイス: 脱脂後は、十分に乾燥させてください。

【取付準備】

1. ①リヤスパッツの両面テープ離型紙の一部約30mmを剥がし、表側に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。
(図13参照)

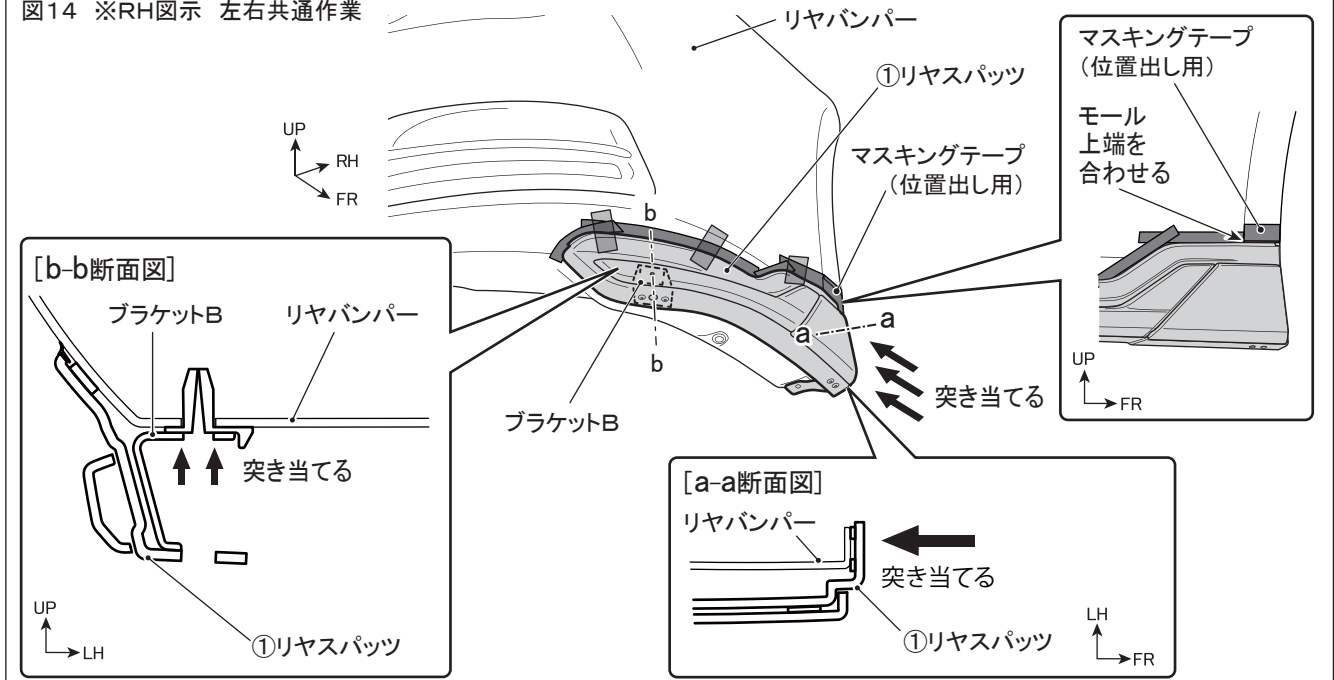
図13 ※RH図示 左右共通作業



【取り付け】

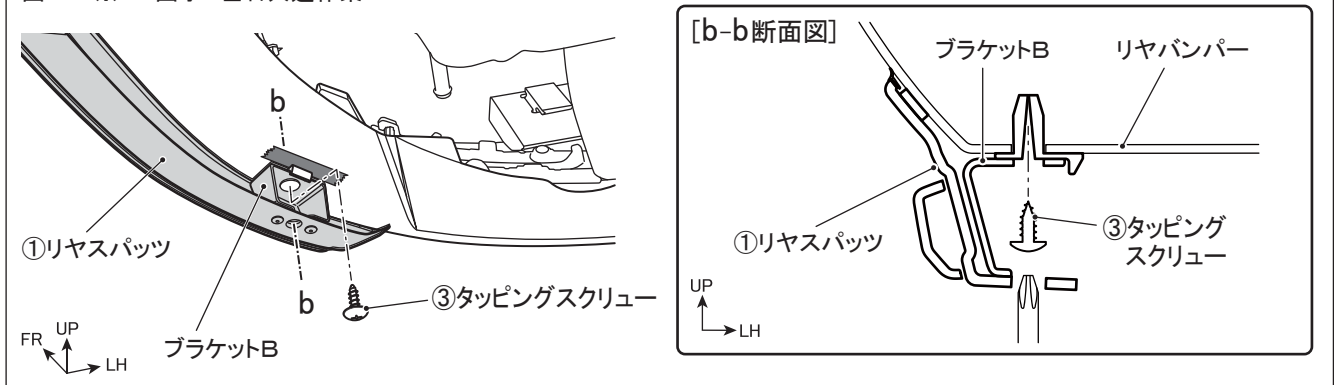
1. ①リヤスパッツをリヤバンパーに被せ、前端をタイヤハウス形状に合わせて突き当てる。①リヤスパッツのモール上端を、取付高さ位置のマスキングテープに合わせる。①リヤスパッツ裏側ブラケットBの上面を車体下面に突き当て、①リヤスパッツを養生テープで固定する。(図14参照)

図14 ※RH図示 左右共通作業



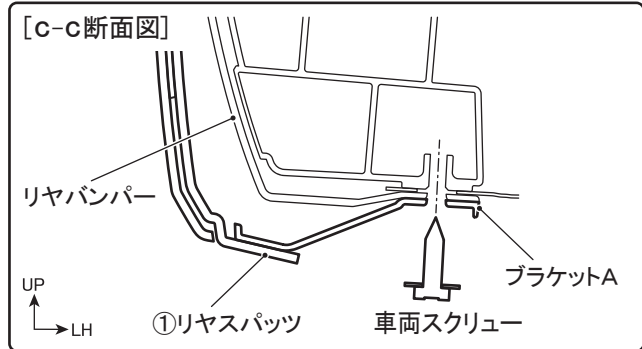
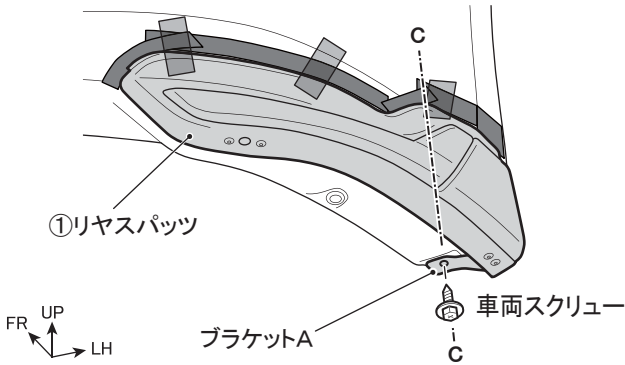
2. 図15のように、①リヤスパッツを③タッピングスクリューで仮締めする。

図15 ※RH図示 左右共通作業



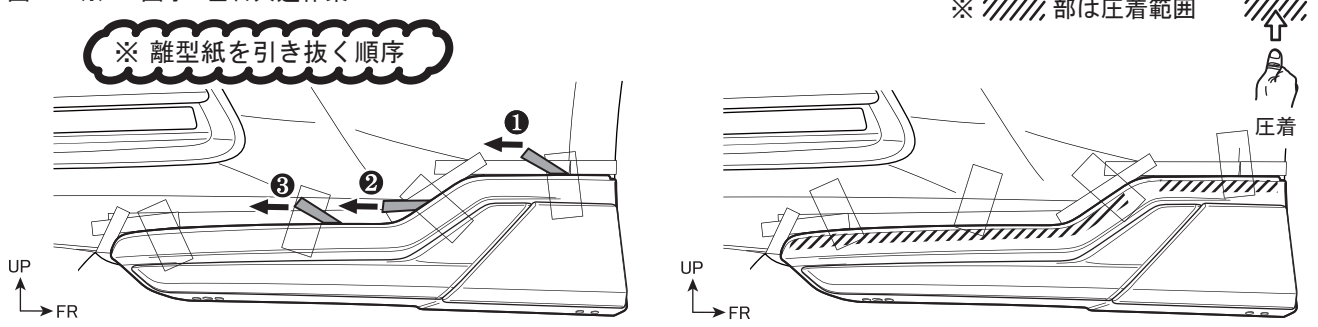
3. ①リヤスパッツのブラケットAを、図1で取り外した車両スクリューで仮締めする。(図16参照)

図16 ※RH図示 左右共通作業



4. ①リヤスパッツのバランス、隙・ズレがない事を確認して、図17のように①から順に両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、圧着する。

図17 ※RH図示 左右共通作業



👉 アドバイス:

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。意図しない箇所に付かない様に気を付けて作業をしてください。
- 離型紙が途中で切れない様に、①リヤスパッツを少し浮かしながら離型紙を引き抜いてください。
- 両面テープの圧着は、49N (5kgf/cm²) 程度の力で行ってください。

5. マスキングテープ、養生テープをすべて剥がす。
6. 取り付けた両面テープ貼り付け位置を再圧着する。
7. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めに本締めする。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びリヤスパッツ廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
4. 両面テープの接着力は安定するまで3~5時間程度必要です。製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。
5. 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ 未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品 (MSD43-30008-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

⚠ 注意: 本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

□ アウターピースの塗装

⚠ 警告: 両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。

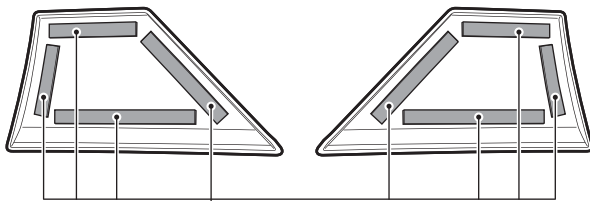
⚠ 注意: 乾燥温度を 60℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

図18

[裏面]

⑦アウターピースRH

⑥アウターピースLH



両面テープ

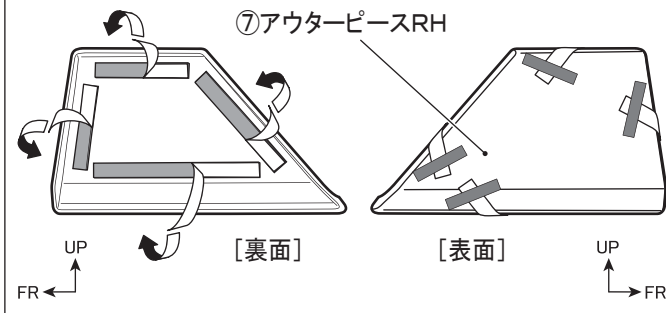
※ 塗装前に必ずマスキングしてください。

- ⑥アウターピースLH、⑦アウターピースRHの裏面に貼り付けてある両面テープをマスキングする。(図18参照)
- 塗装面の汚れ、ゴミ、ほこり等をウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
- ⑥アウターピースLH、⑦アウターピースRHの塗装を行なう。
◎ 注記: 塗料はウレタン系をご使用ください。
- 乾燥させる。
◎ 注記: 乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させてください。

□ アウターピースの取り付け

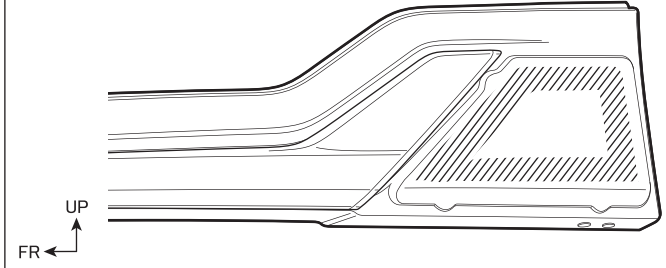
1. 塗装完了後、⑦アウターピースRHおよび①リヤスパッツRHの汚れ、ゴミ、ほこり等をウエスで取り除く。

図19 ※RH図示



2. ⑦アウターピースRH裏面の、両面テープ離型紙の一部約30mmを剥がし、表側に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。(図19参照)

図20 ※RH図示

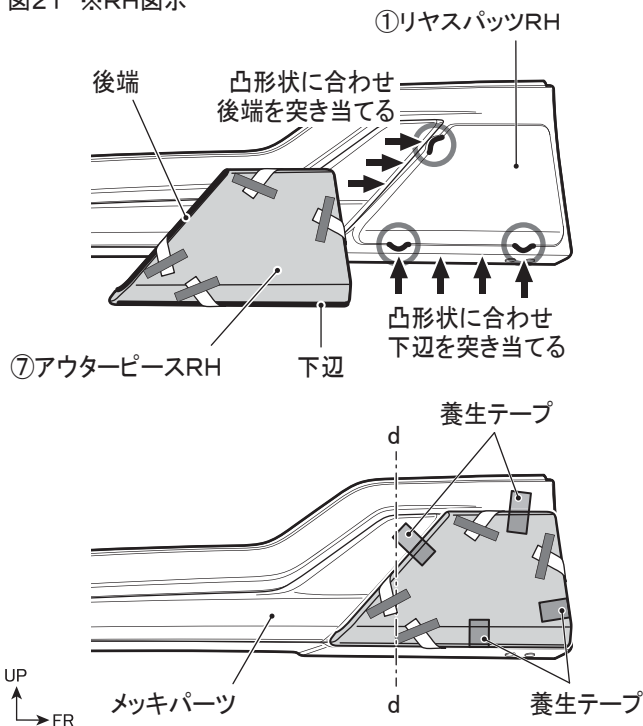


3. 図20の①リヤスパッツRHの斜線部(幅30mm)をイソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂する。

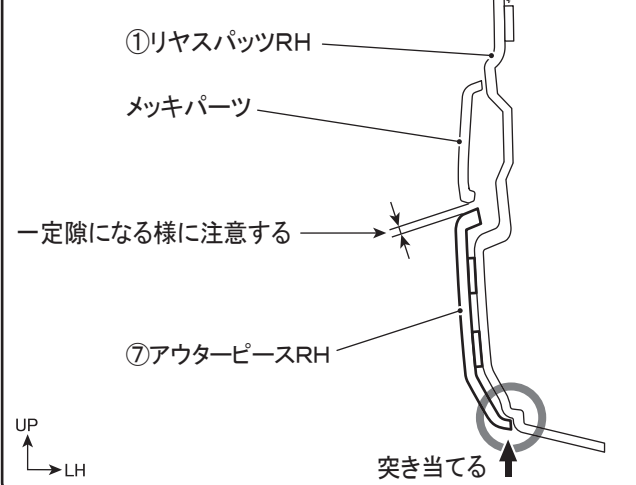
4. ⑦アウターピースRHを①リヤスパッツRHに仮固定する。

⑦アウターピースRHの下辺および後端を①リヤスパッツRHの凸形状に合わせ、下辺および後端を突き当てて、養生テープテープで仮固定する。(図21参照)

図21 ※RH図示



[d-d 断面図] ※RH図示

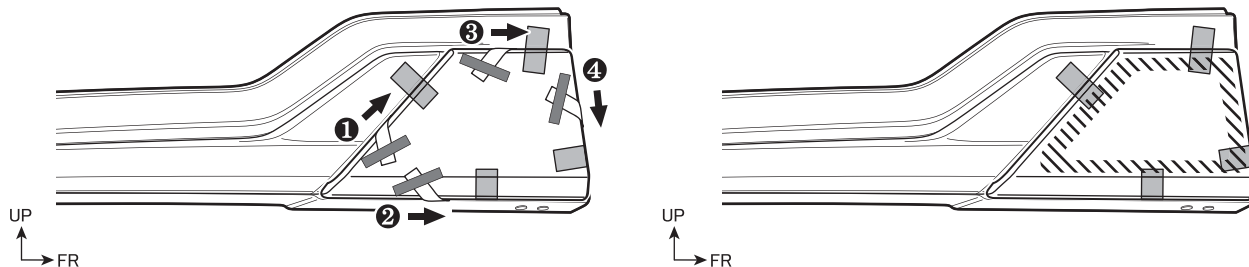


5. ①リヤスパッツRHに対し⑦アウターピースRHのバランス、および隙・ズレがない事を確認して、図22のように①から順に両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、①リヤスパッツRHの裏側と⑦アウターピースRHの表側から挟み込む様にして圧着する。

図22 ※RH図示

※ // 部は圧着範囲

※ 離型紙を引き抜く順序



👉 アドバイス:

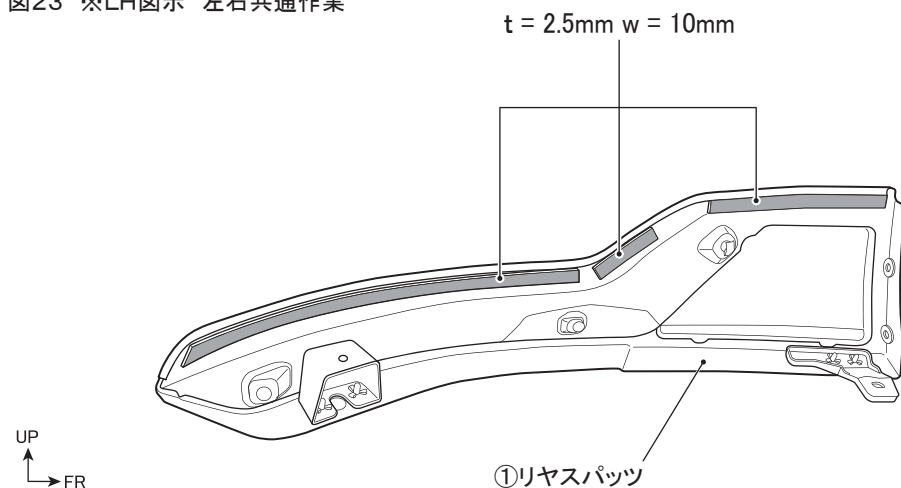
- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。意図しない箇所に付かない様に気を付けて作業をしてください。
- 離型紙が途中で切れない様に、⑦アウターピースRHを少し浮かしながら離型紙を引き抜いてください。
- 両面テープの圧着は、49N (5kgf/cm²) 程度の力で行なってください。

6. 養生テープをすべて剥がす。
7. 手順 1~6 を参考に、⑥アウターピースLHもRHと同様の要領で①リヤスパッツLHに取り付ける。

■ 補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用して①リヤスパッツRH/LHの再取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを貼り付ける。
※ 両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー(3M K-500 相当)を塗布する。

図23 ※LH図示 左右共通作業



株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント
モデリスタ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

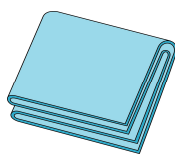


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

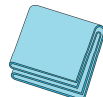
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



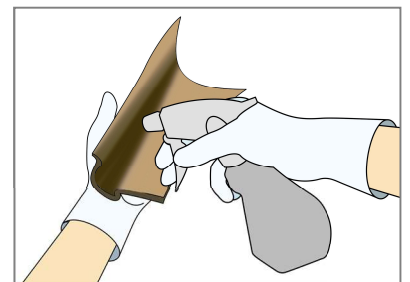
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

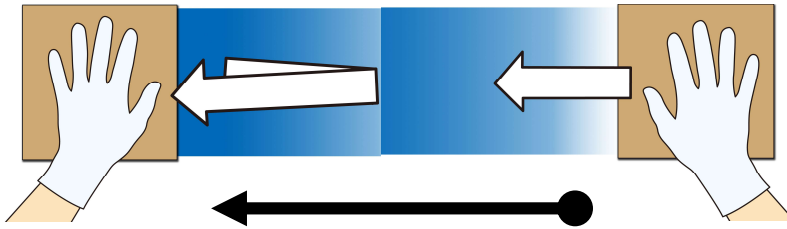
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

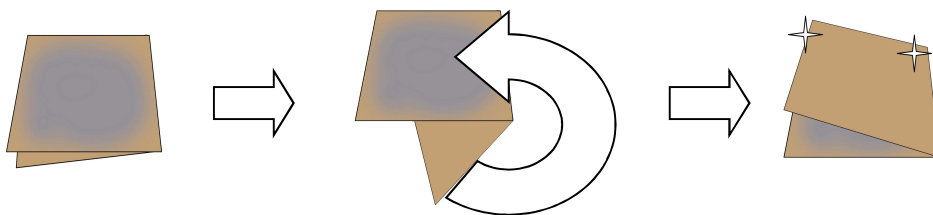
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。